

『森の教室』の県内初開催

令和5年7月19日に越前市上太田保育園、20日に坂井市三国町米納津保育所において、『森の教室 どんぐりくんと森の仲間たち』を県内で初めて開催しました。

この催しは、(公社)国土緑化推進機構が(株)ファミリーマートからの緑の募金を活用し、全国の保育園等を巡回して、子ども達に森林が持つ様々な役割を伝えることなどを目的に実施しているものです。

今回の『森の教室』は、(公社)福井県緑化推進委員会の実施申請が採択され、両園で約70名の園児が参加し実施されました。

園児たちは、緑の募金のキャラクター「どんぐりくん」による「森づくりのキャラクターショー」の鑑賞や参加者全員での森のダンス、ドングリ植えなどを体験しました。

○「森づくりのキャラクターショー」では、森林の木々が土砂崩れを防ぐ効果を持っていることや、森林から栄養豊富な水が海に流れて豊かな漁場を作ることなど、森林の働きについて学びました。

○「森のダンス」では、園児やキャラクター、保育士ら全員で、元気に踊りながら森の大切さを学びました。

○「ドングリ植え」では、シラカシのドングリをプランターに播き、これから2年間、園児たちで水やりなどをし、日々の成長を観察していくこととしています。また、育った苗木は、園庭や近くの森林などに植栽することとしています。

参加した園児からは、「早く芽が出てほしい!」「大きくなったら登りたい!」などの声が聞かれ、とても楽しかった様子が伺えました。

将来に渡って豊かな森林を維持していくことは、自然に携わる一部の人々だけで担っていくのではなく、世代を超えて取り組むべき重要な課題です。

そのため、次世代を担う子ども達に、森林が持つ様々な役割や機能を分かりやすく、かつ楽しく伝えて、少しでも興味・関心が深まるような活動を継続することが必要です。

今回のイベントは、来年秋に福井県において開催される全国育樹祭の記念行事としても位置付けており、福井県緑化推進委員会ではこれからも、森林環境教育や緑化の推進に益々力を入れ、県土の豊かな森林づくりの気運をより一層高めて行きます。

○キャラクターショーの様子



○植えの様子

